

## ✧ 海外ニュース ✧

インド 2018年1月14日 The Economic Times

### ■ イタリアのアトランティア社がインドの IRB インフラストラクチャー社の道路資産を 20 億ドルで買収すべく交渉中

Italy's Atlantia in talks with IRB Infra to acquire road assets in \$ 2-billion deal

ベネトン家が運営するイタリアの道路運営会社アトランティアが、ムンバイを拠点とする IRB インフラストラクチャー社と、IRB 社の有料道路資産ポートフォリオを 20 億ドルで買収すべく独占的に交渉を行っている。直接にこの事を知る複数の人物が本誌に語った。これが実現すればインドに世界最大級の有料道路運営会社が初めて参入することになる。この取引は、成立すればインドで最も交通量の多い高速道路のいくつかを対象となる。

フランス 2018年1月17日 Les Echos

### ■ リール、混雑時の移動を避けたドライバーを対象とする報奨プログラムを検討

La métropole lilloise envisage un dispositif pour rémunérer les automobilistes vertueux

仏北部の都市リールで、朝夕の混雑時の移動を避けたドライバーに、回避行動 1 回あたり 2 ユーロ（未定）を支払うプログラムの実施が検討されている。当プログラムを通じて交通量が 6 % 減少すると、コミューン間広域行政組織「メトロポール・ド・リール（MEL）」は期待を寄せる。参加資格は同一ルートを週に 3 回以上移動するドライバー 6,000 人で、予めナンバープレート専用の機械に読み取らせることが必要。走行状況は車内に搭載する GPS にて行い、月末に報奨金が支払われる仕組み。8 区間にて期間限定で実施される予定の当プログラムの予算は 3 年で 1,370 万ユーロ（国から助成あり）。MEL は今年末までの実施を目指している。ポルドー、グルノーブル、イル＝ド＝フランス地域圏も同様のプログラムの導入を検討中。

アメリカ 2018年1月19日 The Associated Press

### ■ NY の渋滞税導入案：マンハッタンのドライブに 11.52 ドル

Congestion pricing : Driving in Manhattan could cost \$11.52

1 月 19 日に渋滞税の提案が発表された。これは、アンドリュー・クオモ州知事が渋滞税の導入検討のために設置した作業部会が作成したものだ。この提案は、マンハッタンの最も混雑する区間を走行する場合、普通車のドライバーは 11.52 ドル、トラックは 25.34 ドルを支払い、ワーバーやレンタル自動車の場合は 1 回 2 ドル～5 ドルが課されるというものだ。課金対象区間はマンハッタンの 60 番通りの南側とされる予定だ。この課金制度では電子徴収システムが活用される。徴収は E-Zpass の車載トランスポンダによって行われるか、あるいは自動車の所有者宛に請求書が郵送される。

ドイツ 2018年1月23日 Verkehrs Rundschau オンライン版

### ■ ライン地方、トラックによる死亡事故の続発で大規模な監視を開始

GROSSKONTROLLEN NACH TÖDLICHEN LKW-CRASHS IM RHEINLAND

トラックによる死亡事故が続いたことを受け、ライン地方の警察は 1 週間の取締まりを始めた。2017 年、ノルトライン＝ヴェストファーレン州の行政区デュッセルドルフでは、700 km あるアウトバーンで大型車との衝突事故により 8 名が亡くなっている。重大事故が起こるのは渋滞の最後尾に集中していた。警察は火曜日、多くのトラック運転手が自動緊急ブレーキシステムをオフにしていることを批判した。緊急ブレーキシステムは 2015 年より新規登録のトラックで装備が義務化されているが、その機能を無効にすることに罰則はない。昨年の死亡

事故では、ブレーキシステムが装備されているか、有効になっているトラックはなかったという。長距離ドライバーの中には、風をよけて燃料を節約するため、前走車に寄って走り、ブレーキシステムを切っている者がいる。また前方に割り込みされたときに、自動で急ブレーキがかかるのを防いでいる場合がある。

スペイン 2018年1月24日 Cinco Días オンライン版

### ■ 勸業省、AP- 6号線の積雪による混乱についてアベルティスを懲戒処分

Fomento sancionará a Abertis por el caos tras las nevadas en la AP- 6

勸業省には迷いが無い。1月6日～7日にかけて、マドリードから約40kmの有料自動車道路AP- 6号線上で数100台もの車両が立ち往生し交通が大混乱に陥った事態について、最も重い責任はアベルティスにあるとした。イニゴ・デ＝ラ＝セルナ大臣は本日午後、国会の勸業委員会で、アベルティスに対する2件の懲戒審理を開いたと発表した。1つは契約違反に対するもので、さらにインフラ改善のための投資を要求することを強調した。投資については、マドリードとセゴビア、アビラをつなぐコンセッション中の道路を正しい保全状態に維持する責任のある同社の負担で行う。

ドイツ (EU) 2018年1月29日 Verkehrs Rundschau オンライン版

### ■ Vialtis 社が EU の7か国に料金徴収装置を供給

VIALTIS BIETET EIN MAUTGERÄT FÜR SIEBEN EU-LÄNDER AN

国際道路輸送連盟 (IRU) のサービス会社である Vialtis 社が、「Telepass Sat」という新しい装置を売り出している。これを用いて、EU の7か国で大型車通行料の徴収が行われる。同社の発表では、フランス、スペイン、ポルトガル、イタリア、ポーランド (A 4号線の一部)、ベルギーの名が挙げられた。ドイツ、スロベニア、ハンガリー、デンマークでも導入される予定だという。

フランス 2018年2月2日 Atlanti-co

### ■ 運転支援システムが非常に危険であることが証明できる可能性

Les systèmes d'aides à la conduite peuvent s'avérer très dangereux

運転支援システムは危険かもしれない。ヴァンシ高速財団等の依頼で、ストラスブール大学神経認知・神経生理学研究センターとフランス国立科学研究センターが運転支援システムの安全性について調査を行った。調査対象は20代～60歳代の60人のドライバー。運転シミュレーターを使って53km分の高速道路を走行し、以下の2つの場面に遭遇した際の反応速度を測った。1つ目はACCを作動中、前を走るトラックが工事ゾーンを避けるために突然車線を変えたため、手でハンドル操作をしなければならなくなった場面。反応速度は装置不使用の場合の1.1秒に対して2.2秒だった。2つ目はカーブを走行時に車線維持支援システムが解除される場面。ドライバーに事前に合図を出し、実際にハンドル操作が行われるまでの反応速度を測ったところ、平均4.5秒 (60歳以上では6秒) もかかった。研究者たちは運転支援装置がドライバーの注意力低下と眠気を誘発しているとしている。

ドイツ 2018年2月2日 Verkehrs Rundschau オンライン版

### ■ 通行料徴収会社 Toll Collect 社が新たなアプリを発表

NEUE MAUT-APP VON TOLL COLLECT

2018年7月1日までに全連邦道で大型車通行料が課金されることを受け、Toll Collect 社が新たなアプリを発表した。無料であらゆるスマートフォン、タブレットで使用が可能。Android, IOS, Windows Phones のストアでダウンロードでき、ドイツ語、英語、フランス語、ポーランド語で支払いが行える。区間の変更・キャンセルも可能。支払いは現行のあらゆる方法に対応し、今回新たに Paysafecard というプリペイドカードも加わった。

スペイン 2018年2月6日 Cinco Días オンライン版

■ 欧州委員会、ホッホティーフにアベルティスの管理権買い付けを許可/被合併企業が有効な競争力を保ち続けられると結論

La CE permite que Hotchief se haga con el control de Abertis / Concluye que la entidad fusionada seguiría sometida a una competencia efectiva

決定前に欧州委員会（EC）は ACS グループとアベルティスの業務内容が重なる有料自動車道路コンセッション市場の調査を集中的に行った。またホッホティーフと ACS グループの主要事業が現在もなお建設であることから、インフラ建設と維持管理の市場も調査した。EC はさらに、アベルティスが参入している有料自動車道路コンセッションの関連市場、具体的には乗車賃支払装置の販売、通行料金徴収の電子システム、有料自動車道路サービスエリアでの飲食サービスのコンセッションなどを分析。このようにして EC は同社が提案する TOB により競合分野の衝突が起こることはない結論付けた。

イギリス（アメリカ） 2018年2月7日 ITS International

■ 法による支払い義務化によって有料道路利用者に平等が保障できる

Enforcement ensures equity for toll road users

道路利用料金の未払いという違反行為に対する法的措置は、料金所収受ブースで現金あるいは切符で支払われていた時代には、大きな問題にならなかった。しかし自動徴収システムが業界の標準となりつつあり、このことによってドライバーがスピードを落とさずに料金徴収ポイントを通過できる（時間と燃料の節約になり、大気汚染物質の排出も低減される）ようになる一方で、このシステムは利用者側が「料金を支払う」という適切な行動をとるかどうかに懸かっている。そして徴収機関は料金を支払わない利用者を探し出さなければならない。最近の概算によると、アメリカ全土で一般的に道路利用料金の 1.5 ~ 2 % が支払われていない。この平均値は取るに足りないように感じられるが、合計すると大金になる。